

議長

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

議長

次に、質問順位 3番 9番議員 森脇明美君。

議長

森脇明美君。

森脇議員

おはようございます、通告に基づきまして、一般質問を行います。

まず、蜂ヶ峯公園の状況についてお尋ねいたします。

蜂ヶ峯公園は地域住民の遊びとレクリエーション、散策や休養、スポーツなどの利用に加え、多様なコミュニティ活動を営む拠点であり、様々なイベントに活用されています。

しかし、昭和62年の供用開始後、30年が経過し、キャンプ場やアスレチック等の施設の老朽化が進み、同様の総合公園等と比較して、相対的に魅力が低下するなど、様々な問題を抱えています。

「蜂ヶ峯公園の美しい緑を活かし、創造性あふれる施設に多くの人が集い、にぎわいと魅力にあふれた持続可能な公園として再生する。」リニューアル計画の理念において事業化が進められております。

リニューアル計画では、にぎわい交流ゾーン 愛称「Bee+(ビープラス)」「花と緑のゾーン」「レクリエーションゾーン」と区分され、整備の基本的な方針が定められています。

その中でも、「Bee+」エリアについてお尋ねいたします。

この間近に迫った Bee+エリアの工事の進捗状況と施設の内容について、また開園はいつなのか、最初にお尋ねいたします。

議長

村岡都市建設課長。

村岡都市

森脇議員のご質問にお答えします。

建設課長

蜂ヶ峯公園で現在工事を行っております新しいエリアをにぎわい創出整備事業として整備しておりますけども、今「Bee

+(ビープラス)」という愛称決まりました。その Bee+という言葉を使っていたかましてありがとうございます。

この Bee+ですけれども、現時点に於いてコロナ禍の影響とか大きなトラブルはなく、順調に工事は進んでおります。

来年4月上旬にはプレオープンし、4月下旬のゴールデンウィーク前にはグランドオープンをする予定となっております。

議 長 森脇明美君。

森脇議員 今、開園の日とかは、わかりました。今回の補正予算で、オープニングセレモニー事業として、100万円の債務負担行為が提案されておりますが、内容についてお聞かせください。

議 長 村岡課長。

村岡都市建設課長 Bee+のオープニングセレモニーに関する費用の債務負担行為を含めた補正予算案をこの度上程させていただいておりますけれども、議決後には、セレモニーの開催に向けてイベント業者の選定などの作業に着手していき、令和3年の4月24日土曜日にオープニングセレモニーを開催する予定で作業を進めていきたいと考えておるところでございます。

議 長 森脇明美君。

森脇議員 成功することを祈り、次の質問にいきます。

多くの施設がある Bee+エリアは、どのような運営形態をとるのか、また、現在の公園管理協会との関係はどのようなになるのか、お聞かせください。

議 長 村岡課長。

村岡都市建設課長 Bee+エリアの新たな施設は(一財)和木町蜂ヶ峯総合公園管理協会の所有でございます。

その中でレストラン棟については、(株)メイプルシティが蜂ヶ峯総合公園管理協会と使用貸借契約を結び、隣接するイルミネーション広場の管理を含めて営業する予定となっております。

また、交流棟を中心にいたしましたエリア全体の管理運営については、(一社)和木町地域振興協会が先程申し上げた蜂ヶ峯総合公園管理協会から委託を受け運営する予定となっております。

その主な内容は、施設の維持管理や公園の案内等に関する業務、並びに軽食の提供やイベント開催に関する業務を行う予定でございます。以上です。

議 長 森脇明美君。

森脇議員 今、使用については公園の管理協会の方から地域振興協会へそしてレストランの方にとこのような事によくわかりました。

次に運用費用はどのように考えておられるのかお尋ねいたします。

議 長 村岡課長。

村岡都市建設課長 まず、レストラン棟の(株)メイプルシティは、周辺環境整備負担金を蜂ヶ峯管理協会へ納入していただくこととなっております。

次に、Bee+エリア全体を運営をする和木町地域振興協会へは、蜂ヶ峯管理協会から管理運営委託料を支払うこととしております。なお、この委託料については、地域振興協会がエリア内で生み出す収益と相殺し、不足部分を補填するというスキームで検討をおこなっております。

よって、基本的にはエリア内の収益で Bee+の運営を賄っていくということとなり、蜂ヶ峯管理協会及び町からの財政支出が増額とならないように考えているところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 その辺はよく考えていただきたいと思います。

次に公園使用料について伺いたします。

令和元年度の決算では、前年度に比べて増になっておりました。このコロナ禍の中、今年度の使用料の見込みについてお尋ねいたします。

議長 村岡課長。

村岡都市建設課長 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、4月から5月の間、有料施設を休業とした期間がございますので、6月までは大幅な落ち込みというふうになっておりました。その後、急速な回復を見せまして、7月以降は、天気にも恵まれ昨年度を上回る使用料収入となっております。最終的な年間比較で予測いたしますと、現時点の予測ですが、対前年比2割減程度の使用料で収まるのではないかと見込んでいるところでございます。

コロナ禍の影響については、有料施設の休止等を実施しなければ、公園は屋外の施設がほとんどでございますので、影響はさほど大きくならないのではないかと分析しているところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 大体見込みとしては対2割減で収まるようになっていうことで安心はしております。

次に、Bee+エリアも開園し、このコロナ禍が落ち着いてからの、今後の公園経営の見通しについてお聞かせください

議長 村岡課長。

- 村岡都市建設課長 来年4月から新たに **Bee+**が加わることによりまして、公園全体の集客率が大きくアップし、公園使用料収入も増加するものと期待をしているところでございます。
- 引き続き、民間活力の導入等を推進し、持続可能な公園経営を目指していきたいと考えているところでございます。
- 議長 森脇明美君。
- 森脇議員 民間活力を活用して行うということで期待いたします。
- ここで懸念されるのがレストラン、管理事務所、こども広場、遊具等、多くの施設が整備されるが、大きな懸念は、駐車場との間にある町道、カーブで見通しが悪く危険な横断となるように思います。
- 子供連れの利用も多く見込まれますが、対策については考えておられますか。
- 議長 村岡課長。
- 村岡都市建設課長 議員のご指摘の通り **Bee+**エリアに隣接する町道は、カーブとなっておりますので、完成後に来園者の増加も見込まれることもあることから、町としては交通安全対策工事を実施することとしております。現在発注段階となっております。今年中には入札によって業者が決定して、来年の3月、年度末までに完成する見込みでございます。
- 内容といたしましては、通行車両への注意喚起とスピード抑制を重点に行う対策工事でございます。具体的には **Bee+**エリアの入り口となるにぎわい広場前に、カラー舗装による歩行者横断帯を設置し、また、その前後にはスピード抑制のために、立体に見える表示、イメージハンプというものですが、それを設置したり「歩行者注意」の路面標示を行います。
- 管理棟前から弓道場前ぐらいまでの約400m区間には、道路幅が狭く見えるような外側線やドットマークを設置し、**Bee+**エリア付近のカーブの道路センターには、車線分離標（オレ

ンジ色のゴムポールのようなもの)を設置してですね、このような交通安全対策工事を行う予定、内容となっております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 様々な交通安全工事をしていただき、今後安全で事故のない、Bee+エリアの方で遊んでいただけるような対策をよろしくお願いいたします。

次に、「Bee+ (ビープラス)」ゾーンについては、この度のにぎわい創出拠点整備事業により具体化し、新たなにぎわい創出をされることに大きな期待を持っていますが、花と緑のゾーンについては、バラ園が中心的な施設であり、サウンディング調査を行うということでしたが、その後の状況についてお尋ねいたします。

議長 村岡課長。

村岡都市建設課長 バラ園のリニューアル及び今後の運営のためのアイデア聴取を目的とした、10月上旬からですね、サウンディング市場調査を行っておりますが、そのサウンディング参加事業者を募ったところ、造園業や花の販売業者、イベントや公園運営などを行っている業者など数社の参加がありまして、それぞれの分野から貴重な意見やアイデアを得ることができました。

今後は、これらのアイデア・意見を基に町として検証いたしまして、来年度以降の計画を、リニューアル計画を作成していきたいと考えているところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、様々な計画がなされているようですが、今後の蜂ヶ峯総合公園の再整備については、町の財政状況が厳しい中で短期間に多くの財源をつぎ込むことは困難な状況ですので、国や県の補助金などにより、有効な財源の確保を図っていただき、にぎ

わいと魅力にあふれる、経営的な視点においても、持続可能な公園になるよう、議会も行政に協力していきたいと考えております。

次に、コロナ対策の状況と今後の見通しについてお尋ねいたします。

新聞やテレビ等の報道により、第3波コロナ禍が懸念されております。

都心では、重症者が増え、ベッド数等も不足になったり、近隣ではクラスターの発生により、70名強の方がコロナウイルス感染症になられたり、非常に厳しい状況になっております。

現在、コロナ関連の国からの臨時交付金はどのくらい入っているのかお尋ねいたします。

議長 田中企画総務課長。

田中企画総務課長 新型コロナウイルス感染症対応のための国からの補助金としては、本年4月7日に閣議決定された緊急経済対策において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るための新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設されまして、さらに6月下旬に地方の実情に応じた後押しをするとともに「新しい生活様式」等への対応を図る観点から臨時交付金が拡充されることとなりました。

和木町においては、5月上旬に交付金の限度額4,205万1千円、更に6月下旬に9,844万1千円が示され、合計1億4,049万2千円が交付される見込みとなっておりましたが、先月25日正式に交付決定通知を受けたところでございます。

間もなく、概算払いがなされるものと見込んでおります。

また、臨時交付金以外の新型コロナウイルス感染症に対する国からの助成としては、保健相談センターやこども園、小学校、中学校、わきっこクラブなどの教育施設に対し、子ども子育て支援交付金あるいは学校保健特別対策事業費補助金として合

計300万円余りが給付される見込みとなっており、マスクや消毒液、体温計購入などの費用に充てているところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 最初に臨時交付金については、1億4千万強ありまして子ども子育て支援にもなっているということですが、最初の臨時交付金の活用内容について、もう少し詳しく説明をお願いいたします。

議長 田中課長。

田中企画総務課長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用内容については、感染拡大が住民生活に多大な影響を及ぼし、住民の皆さまが大変な思いをされていること、また、1億円を超える多額の交付金であることから、これをより有効に活用するため、職員の英知を結集して、数多くの事業を創設しております。

主なものを申し上げますと、新型コロナウイルス感染症の影響により事業状況が悪化した商工業者の皆さまを支援するための第1弾 飲食店業経営支援補助金、第2弾 商工業経営応援補助金、第3弾 事業継続応援給付金、あるいは子育て世帯や大学生、ひとり親世帯を支援する子育て給付金事業、小中学校児童生徒に1人1台タブレットを整備する GIGA スクール構想の事業実施を後押しする小中学校教育振興事業、新型コロナウイルス関連情報や緊急情報等をスマートフォンで閲覧できるよう町ホームページを更新する情報発信強化事業、ケーブルテレビで新型コロナウイルス関連情報や河川水位情報、防災情報のリアルタイムでの発信など情報発信の強化を図る CATV 情報発信強化事業、温室効果ガス排出の抑制を図るとともに災害時の非常用電源としても活用できる電気自動車導入事業、飛沫拡散防止を図るための公共施設のトイレ改修事業、国の特別



定額給付金の対象外となった4月28日以降の出生児を支援する新生児特別定額給付金交付事業、コロナ禍においてインフルエンザとの同時流行を抑制し医療機関の負担軽減を図るためのインフルエンザ予防接種助成金、患者の受診控えにより経営に影響が出ている医療機関を応援するための医療機関等事業継続応援給付事業、妊婦さんに経済的な支援を行う妊婦への特別定額給付金交付事業、あるいは、マスク、消毒用アルコールなどの感染症対策物品を確保する伝染病予防事業、コロナ禍における災害避難所用の備品整備、本定例会補正予算で提案させていただいている、家庭ごみ収集事業継続応援給付事業など、70以上にわたる事業を推進しているところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 この臨時交付金の活用が、本当に住民の皆さまにより有効なものに使われているということで理解をいたしました。でも、今からですね、まだ第3波がやってきて、和木町も大変なことになるというのは理解しております。今後、コロナ関連の、もしも臨時交付金が入れば、また、今70もやっていただいておりますが、どういうものに充てられるのかお尋ねいたします。

議長 田中課長。

田中企画総務課長 地方創生臨時交付金につきましては、これまで、第1次、第2次の実施計画を提出し、合計で1億4千万を超える交付決定を受けているところでございます。先週末の首相会見にて、国において臨時交付金を1.5兆円積み増すという方針が示されました。また、情報によりますと、間もなく第3次の事業案が示され上限額も提示されるように聞いておりますが、本日まで情報提供はなされておられません。

国から事業案が示されていないため、現時点でどのような事業に充てられるかについては、お答えできないところなんです

が、情報提供がなされた際には、遅滞なく、国の事業案に沿った和木町の第3次計画を策定し、議員の皆さまからもご了解をいただいたうえで、感染拡大の影響を受けている地域経済や町民の皆さまの生活を支援すべく、事業展開を図って参りたいというふうに考えております。

議長 森脇明美君。

森脇議員 よくわかりました。このコロナ禍において、今年の法人町民税と個人町民税の見込みと、今後の法人町民税と個人町民税の見込みについてお聞かせください。

議長 吉岡税務課長。

吉岡税務課長 今後の見込みの前に、今年度の法人税の見込みにつきまして説明しますと、歳入は、当初予算額より多いと推定していますが、9月議会で補正予算の専決処分を承認していただきました法人税の還付をしています。今後の見込みにつきましては、来年度の法人税の歳入はコロナの影響による業績悪化により、今年度の当初予算額よりも少なくなるとみています。町民税につきましては、三井寮の移転による人口減等を考慮し、今年度より減額するものと考えています。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、見込みについて少なくなるって伺いました。この、今現在のコロナ禍において、町民税の減免相談等はなかったんでしょうか。

議長 吉岡課長。

吉岡税務課長 町民税を減額するという制度はないんですし、相談という件数もありませんでした。

議長 森脇明美君。

森脇議員 安心いたしました。

それでは、最後に今後の財政状況と来年度以降、特に公債費の増加が見込まれておりますが、財政運営はどのように考えているかお尋ねいたします。

議長 田中企画総務課長。

田中企画総務課長 今年度の財政状況につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、相当に悪化するのではないかと懸念をしておりましたが、地方創生臨時交付金など国からの交付金を受けることができたこと、あるいは当初予定していた各種の事業やイベント、これが縮小、中止の措置を取らざるを得なくなったことから予算の執行が見送られる事業もあり、また、税収については、昨年、前年度実績により算定されることから大きく落ち込んでおらず、今年度については多額の財政調整基金を取り崩すというような状況には至らないものと見込んでいます。

今後の財政状況については、こども園整備事業や岩国市ごみ焼却施設事業負担金など平成29年、30年度に多額の借入れを行った起算の返還が来年度あたりから始まるため、厳しい財政運営を強いられることが見込まれておりましたが、これに加えてコロナ禍に伴う税収の減や、収入減に伴う損失補填の必要性も見込まれるため、今後の財政運営は非常に厳しくなるものと見込んでおります。

先週から、来年度の予算査定が始まったところですが、現時点では非常に多額の歳入不足となっており、厳しい予算編成作業を行っているところでございます。

このような状況でございますが、来年度以降におきましては、今年度、縮小あるいは中止の措置を採った各種の事業やイベントなどについてもなるべく元の状態に近づけることで活力あふれるまちづくりを推進したいというふうに考えているところであり、また、ウィズコロナ、アフターコロナという時

代を見据え、「新しい生活様式」等も鑑みながら、議員の皆さまのご協力を賜り、町民の皆さまの生活の安定、町民福祉の向上に努めて参らなければならないというふうに考えているところでございます。

議長 森脇明美君。

森脇議員 今、来年度以降の本当厳しい財政運営になるという事をお聞きしまして、やはり議会も執行の動きを注視し、協力できることは協力していきたいと思えます。

以上で一般質問を終わります。

議長 再質問はございませんか。

森脇議員 ありません。

議長 再質問がないようですので、以上で森脇明美君の一般質問を終わります。